

2020・7・18 【俳壇賞2020 全44句】

選12句

つんつんと春の川面の水輪かな

花びらに内と外ありチューリップ

売家と唐様で書く桃の花

初夏のこれが一番白い服

夏瘦せて肋の人となりにけり

吹く風に縦一列や鯉幟

新しき朝の始まる蟬の穴

秋風の全長千里吹き渡る千疋のやや

湯の宿に運動会の声聞こゆ

全国へ葡萄旅立つ葡萄棚

転がされ鉄の硬さの雪達磨

諸国を巡る乞食坊主や帰り花

△△△

△△△

17行3段組12ボ
2020年7月18日 18:14 ^1~桐9

2020・7・24 【俳壇賞2020 全52句】

選6句

つんつんと春の小川の水面かな

仲良しは春の眠りと赤ん坊

売家と唐様で書く桃の花

初夏のこれが一番白い服

吹く風に縦一列や鯉幟

新しき朝の始まる蟬の穴

秋風の全長千里吹き渡る

湯の宿に運動会の声聞こゆ
転がして鉄の硬さの雪達磨

17行3段組14ボ
2020年7月24日
19:24
^1 v 桐9

2020・6・1【俳壇賞2020】

選14句 take 31

17行3段組14歩 2020年9月7日 10:51 ^1 v 桐9

暖かやお尻で磨く滑り台

つんつんと春の小川の水面かな

仲良しは春の眠りと赤ん坊

売家と唐様で書く桃の花

初夏のこれが一番白い服

吹く風に縦一列や鯉幟

新しき朝の始まる蟬の穴

秋風の全長千里吹き渡る

二階建の高速道路秋の雨

月の夜の蛹の如く寝袋には

湯の宿に運動会の声聞こゆ

焼け落ちる橋の悲しみ虫の声

蟻蟻の立ちはだかりし猫の前

転がして鉄の硬さの雪達磨

千葉で千空とえりや秋め因
吉く八

30℃
かくす
木

中庭のこころうたご

木のてらてらと

月の信

木口かゝDNAY

妹へさん

刃化のせせらんて

刃化のせせらん

飛ひさろし
たとえよそ

刃化のせせらんて

かくす木

刃化のせせらんて
にあくと
かくす木

2020・9・8 【俳壇賞2020 全84句】 選16句

take
2

暖かやお尻で磨く滑り台
つんつんと春の小川の水面かな
売家と唐様で書く桃の花
初夏のこれが一番白い服
片陰を通用門へ廻りけり
吹く風に縦一列の鯉幟
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
千里来て千里遠くへ秋の風
秋雨やゆるいカーブの高速路
寝袋は蛹の如し天の川
散らかつてゐても綺麗な野分後
湯の宿に運動会の声聞こゆ
蟬蟬の立ちはだかりし猫の前
チチと鳴く小さき小鳥の来りけり
宵の口月に供へし桃を食ふ
転がして鉄の硬さの雪達磨

月の夜

4-4-8-1

秋雨や四つ角のまきは迷路
枝の下でやく

句集のときめくやう
月とおり9.15

2020・6・6 【俳壇賞2020 全82句】

選14句

take 3

17行3段組14歩 2020年9月9日 11:06 ↑1 ↓桐9

暖かやお尻で磨く滑り台
つんつんと春の小川の水面かな
春眠の宿に落花の限りなし
売家と唐様で書く桃の花
初夏のこれが一番白い服
片蔭を通用門へ廻りけり
夏瘦せて肋の人となりにけり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
秋雨や四つ角のなき高速路
散らかつてゐても綺麗な野分後
湯の宿に運動会の声聞こゆ
蟬螂の立ちはだかりし猫の前
チチと鳴く小さき小鳥の来りけり
転がして鉄の硬さの雪達磨

4-4-5-1

2020・6・9 【俳壇賞2020 全88句】

選16句

takey

17行3段組14ボ

2020年9月9日

21
27

^1 v桐9

暖かやお尻で磨く滑り台
頭だけ替へる剃刀花の夜
つんつんと春の小川の水面かな
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
壳家と唐様で書く桃の花
初夏のこれが一番白い服
片蔭を通用門へ廻りけり
夏瘦せて肋の人となりにけり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
秋雨や四つ角のなき高速路
散らかつてゐても綺麗な野分後
湯の宿に運動会の声聞こゆ
蟬蟬に立ちはだかりし子猫かな
チチと鳴く小さき小鳥の来りけり
転がして鉄の硬さの雪達磨

2020・6・11 【俳壇賞2020 全93句】

選15句

暖かやお尻で磨く滑り台
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
頭だけ替へる剃刀花の夜
売家と唐様で書く桃の花
初夏のこれが一番白い服
片蔭を通用門へ廻りけり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
秋雨や四つ角のなき高速路
散らかつてゐても綺麗な野分後
湯の宿に運動会の声聞こゆ
蟬蟬に立ちはだかりし子猫かな
チチと鳴く小さき小鳥の来りけり
転がして鉄の硬さの雪達磨
切り分けて尖りしクリスマスケーキ

2020・9・14 【俳壇賞2020 全101句】 選19句

take
5

暖かやお尻で磨く滑り台

切り分けて尖りしクリスマスケーキ

春眠の宿に落花の限りなし

しんしんと年の始めの寒さかな

代診の先生若し春の風邪

帰り来て部屋の暗さよ花衣

頭だけ替へる剃刀花の夜

売家と唐様で書く桃の花

初夏のこれが一番白い服

片蔭を通用門へ廻りけり

珈琲に負けぬ強さの柏餅

羽化の蝉飛んで風化の蟬の穴

枕には頭の匂ひ畠栗の花

秋雨や四つ角のなき高速路

散らかつてゐても綺麗な野分後

湯の宿に運動会の声聞こゆ

蟻蟻に立ちはだかりし子猫かな

チチと鳴く小さき小鳥の来りけり

転がして鉄の硬さの雪達磨

よ／＼

17行3段組14ボ 2020年9月14日 14:31 ^1^ 桐9

2020・6・14 【俳壇賞2020 全111句】 選20句

takel

暖かやお尻で磨く滑り台

しんしんと年の始めの寒さかな

代診の先生若し春の風邪

転がして鉄より硬し雪達磨

春眠の宿に落花の限りなし

秒針のひたひた廻る大試験

帰り来て部屋の暗さよ花衣

頭だけ替へる剃刀花の夜

~~売家~~と唐様で書く桃の花

初夏のこれが一番白い服

珈琲に負けぬ強さの柏餅

枕には頭の匂ひ畠栗の花

片蔭を通用門へ廻りけり

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

秋雨や四つ角のなき高速路

散らかつて庭いきいきと野分あと

湯の宿に運動会の声聞こゆ

チチと鳴く小さき小鳥の来りけり

蜻蛉に立ちはだかりし子猫かな

切り分けて尖りしクリスマスケーキ

2020・6・15 【俳壇賞2020 全125句】 選26句

26 take 7

暖かやお尻で磨く滑り台
四月号二月の末に出でにけり
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
塵埃明るき春の畠かな
ゆふやけの春うつくしや人もまた
帰り来て部屋の暗さよ花衣
頭だけ替へる剃刀花の夜
次々に椿の落る月夜かな
立ち上る人の見渡す潮干狩
初夏のこれが一番白い服
珈琲に負けぬ強さの柏餅
枕には頭の匂ひ畠栗の花
片蔭を通用門へ廻りけり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
秋雨や四つ角のなき高速路
散らかつて庭いきいきと野分あと

湯の宿に運動会の声聞こゆ
桃の世へ大きな種を吐き出せり
チチと鳴く小さき小鳥の来りけり
蟬螂に立ちはだかりし子猫かな
切り分けて尖りしクリスマスケーキ
しんしんと年の始めの寒さかな
転がして鉄より硬し雪達磨
冬眠の黒き田螺や泥の中
秒針のひたひた廻る大試験

11-5-6-3-1

紅川みか

2020・6・15 【俳壇賞2020 全165句】 選26句

take8

17行3段組14ボ 2020年9月15日 22:11 ~ 桐9

暖かやお尻で磨く滑り台

四月号二月の末に早も出づ

頭だけ替へる剃刀籬の夜

春眠の宿に落花の限りなし

代診の先生若し春の風邪

桜餅一人で食べて二つかな

塵埃明るき春の暁かな

立ち上りぐるりと見やる潮干狩

初夏のこれが一番白い服

珈琲に負けぬ強さの柏餅

徽の香に高き天井みあげをる

枕には頭の匂ひ畠栗の花

片蔭を通用門へ廻りけり

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

秋雨や四つ角のなき高速路

散らかつて庭いきいきと野分あと

湯の宿に運動会の声聞こゆ

桃の世へ大きな種を吐き出せり

玄関に家族の靴と虫の声

チチと鳴く小さき小鳥と思はるる

父母を我がものにして七五三

切り分けて尖るはクリスマスケーキ

しんしんと年の始めの寒さかな

転がして鉄より硬し雪達磨

冬眠の黒き田螺や泥の中

秒針のひたひた廻る大試験

再? 玄関は靴の邊や
梅雨の夜

2020・6・16 【俳壇賞2020 全180句】 選25句

の靴は空っぽ

17行3段組14ボ 2020年9月16日 13:37 ^1~桐9

暖かやお尻で磨く滑り台

玄関に空っぽの靴虫の声

靴の上廻らや

現し世の二月の末の四月号

チチと鳴くは小さき小鳥と思はる

足の跡せぬや

頭だけ替へる剃刀籬の夜

父母を我がものにして七五三

足の跡せぬや

春眠の宿に落花の限りなし

切り分けて尖るはクリスマスケーキ

足の跡せぬや

代診の先生若し春の風邪

しんしんと年の始めの寒さかな

足の跡せぬや

桜餅一人で食べる二つかな

転がして鉄の重さの雪達磨

足の跡せぬや

立ち上りぐるりと見やる潮干狩

冬眠の黒き田螺や泥の中

足の跡せぬや

初夏のこれが一番白い服

秒針のひたひた廻る大試験

足の跡せぬや

珈琲に負けぬ強さの柏餅

片蔭を通用門へ廻りけり

足の跡せぬや

徽の香に天井高く見上げる

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

足の跡せぬや

枕には頭の匂ひ芥子の花↑

秋雨や四つ角のなき高速路

足の跡せぬや

散らかつて庭いきいきと野分あと

湯の宿に運動会の声聞こゆ

足の跡せぬや

桃の世へ大きな種を吐き出せり

2020・6・16 【俳壇賞2020 全194句】 選25句

Take 10

17行3段組14ボ 2020年9月16日 18:08 ^1~桐9

暖かやお尻で磨く滑り台
現し世の二月の末の四月号
頭だけ替へる剃刀雛の夜
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
一階に重なる二階蝶の昼
立ち上りぐるりと見るや潮干狩
初夏のこれが一番白い服
珈琲に負けぬつもりの柏餅
徽の香に天井高き館かな
枕には頭の匂ひ芥子の花
片蔭を通用門へ廻りけり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
秋雨や四つ角のなき高速路
散らかつて庭いきいきと野分あと
湯の宿に運動会の樂届く
桃の世へ大きな種を吐き出せり

30句 細い
えーれ うす味
スイコウヒキヅシト 反射光
羽化の蝶は
からだをえをい
非ドマツセ
DB 熱々
季節の海潮、紅葉、名残
流れ止
流れ主役
くずるよすきは
ゆきのよのわけなく
くずるよすきは
くずるよすきは

黒川西云

2020・6・17 【俳壇賞2020 全206句】 選27句

takeii

9.16

暖かやお尻で磨く滑り台

葡萄酒も買って葡萄の旅終る

仮の世の二月の末の四月号

玄関の靴の虚ろや虫の声

頭だけ替へる剃刀籬の夜

チチと鳴くは小さき小鳥と思はる

春眠の宿に落花の限りなし

父母を我がものにして七五三

代診の先生若し春の風邪

切り分けて尖るはクリスマスケーキ

一階に重なる二階蝶の昼

しんしんと年の始めの寒さかな

立ち上りぐるりと見やる潮干狩

踊子の長き手袋赤と黒

初夏のこれが一番白い服

転がして鉄の重さの雪達磨

珈琲に負けぬつもりの柏餅

冬眠の黒き田螺が泥の中

徽の神人に特効薬賜ふ

秒針のひたひた廻る大試験

枕には頭の匂ひ芥子の花

片蔭を通用門へ廻りけり

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

秋雨や四つ角のなき高速路

散らかつて庭うつくしや野分あと

宿の湯に運動会の楽届く

桃の世へ大きな種を吐き出せり

2020・6・17 【俳壇賞2020 全206句】 選28句

take12

暖かやお尻で磨く滑り台

葡萄酒も買って葡萄の旅終る

仮の世の二月の末の四月号

玄関の靴の虚ろや虫の声

頭だけ替へる剃刀籬の夜

チチと鳴くは小さき小鳥と思はるる

春眠の宿に落花の限りなし

父母を我がものにして七五三

代診の先生若し春の風邪

切り分けて尖るはクリスマスケーキ

一階に重なる二階蝶の昼

しんしんと年の始めの寒さかな

立ち上りぐるりと見やる潮干狩

手袋で好きな絵本を撫でてやる

初夏のこれが一番白い服

手袋で好きな絵本を撫でてやる

珈琲に負けぬつもりの柏餅

転がして鉄の重さの雪達磨

黴の神人に特効薬賜ふ

冬眠の黒き田螺が泥の中

枕には頭の匂ひ芥子の花

秒針のひたひた廻る大試験

片蔭を通用門へ廻りけり

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

秋雨や四つ角のなき高速路

散らかつて庭うつくしや野分あと

宿の湯に運動会の樂届く

桃の世へ大きな種を吐き出せり

2020・6・17 【俳壇賞2020 全215句】 選28句

take 13

暖かやお尻で磨く滑り台

葡萄酒も買って葡萄の旅終る

仮の世の二月の末の四月号

玄関の靴の虚ろや虫の声

頭だけ替へる剃刀籠の夜

チチと鳴くは小さき小鳥と思はるる

春眠の宿に落花の限りなし

父母を我がものにして七五三

代診の先生若し春の風邪

切り分けて尖るはクリスマスケーキ

一階に重なる二階蝶の昼

しんしんと年の始めの寒さかな

立ち上りぐるりと見やる潮干狩

手袋で好きな絵本を撫でてをる

初夏のこれが一番白い服

転がして鉄の重さの雪達磨

珈琲に負けぬつもりの柏餅

ゆきのよのわけなくぐずるおねむの子

徽の神人に特効薬賜ふ

冬眠の黒き田螺が泥の中

枕には頭の匂ひ芥子の花

秒針のひたひた廻る大試験

片蔭を通用門へ廻りけり

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

秋雨や四つ角のなき高速路

散らかつて庭うつくしや野分あと

宿の湯に運動会の樂を聞く

まきほのかの樂

桃の世へ大きな種を吐き出せり

まきほのかの樂

2020・6・18 【俳壇賞2020 全232句】 選29句

Take 14

17行3段組14ボ
2020年9月18日 10:25
^1桐9

暖かやお尻で磨く滑り台
仮の世の二月の末の四月号 下勾
頭だけ替へる剃刀籠の夜 玄関の靴の虚ろや虫の声
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
一階より高きは二階蝶の昼
立ち上りぐるりと見やる潮干狩
初夏のこれが一番白い服
珈琲に負けぬつもりの柏餅
良薬を徽の神より賜りぬ
枕には頭の匂ひ芥子の花
片蔭を通用門へ廻るなり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
秋雨や四つ角のなき高速路
散らかつて庭うつくしや野分あと
宿の湯にかすかに運動会の樂
桃の世へ大きな種を吐き出せり

未だ
未だ

葡萄酒も買つて葡萄の旅終る
チチと鳴くは小さき小鳥と思はる
父母を我がものにして七五三
切り分けて尖るはクリスマスケーキ
しんしんと年の始めの寒さかな
手袋で好きな絵本を撫でてをる
ウオータードアイスは水と氷なり
転がして鉄の重さの雪達磨
ゆきのよのわけなくぐするおねむの子
冬眠の黒き田螺が泥の中
秒針のひたひた廻る大試験

やつた)実戦だ!

2020・9・18 【俳壇賞2020 全240句】 選27句

false 15

12行3段組14ボ 2020年9月18日 19:35 ^1~桐9

暖かやお尻で磨く滑り台

秋雨や四つ角のなき高速路

ゆきのよのぐずつてゐるはおねむの子

仮の世の二月の末の四月号

散らかつて庭うつくしや野分あと

冬眠の黒き田螺が泥の中

頭だけ替へる剃刀雑の夜

宿の湯にかすかに運動会の樂

秒針のひたひた廻る大試験

春眠の宿に落花の限りなし

桃の世へ大きな種を吐き出せり

代診の先生若し春の風邪

葡萄酒も買つて葡萄の旅終る

立ち上り見るぐるりの潮干狩

玄関の靴の虚ろや虫の声

初夏のこれが一番白い服

チチと鳴くは小さき小鳥と思はる

珈琲に負けぬつもりの柏餅

父母を我がものにして七五三

良薬を徽の神より賜りぬ

切り分けて尖るはクリスマスケーキ

枕には頭の匂ひ芥子の花

しんしんと年の始めの寒さかな

片蔭を通用門へ廻るなり

手袋で好きな絵本を撫でてをる

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

転がして鉄の重さの雪達磨

2020・6・19 【俳壇賞2020 全247句】 選28句

take 16

12行3段組14ボ 2020年9月19日 21:14 ~ 桐9

暖かやお尻で磨く滑り台 秋雨や四つ角のなき高速路

雪の夜にぐずつてゐるはおねむの子

仮の世の二月の末の四月号 散らかつて庭うつくしや野分あと

冬眠の黒き田螺が泥の中

頭だけ替へる剃刀籬の夜 宿の湯にかすかに運動会の樂

秒針のひたひた廻る大試験

春眠の宿に落花の限りなし 桃の世へ大きな種を吐き出せり

春を待つ長蛇の列を思ひけり

代診の先生若し春の風邪

春を待つ長蛇の列を思ひけり

立ち上り見るやぐるりの潮干狩

春を待つ長蛇の列を思ひけり

初夏のこれが一番白い服

春を待つ長蛇の列を思ひけり

珈琲に負けぬつもりの柏餅

春を待つ長蛇の列を思ひけり

良薬を徽の神より賜りぬ

春を待つ長蛇の列を思ひけり

枕には頭の匂ひ芥子の花

春を待つ長蛇の列を思ひけり

片蔭を通用門へ廻るなり

春を待つ長蛇の列を思ひけり

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

春を待つ長蛇の列を思ひけり

手袋で好きな絵本を撫でてをる

春を待つ長蛇の列を思ひけり

金句

2020・6・21 【俳壇賞2020 全252句】 選28句

47句
開門に元気のJYや赤色行つ
false 17

12行3段組14ボ 2020年9月21日 09:25 ~ 桐9

暖かやお尻で磨く滑り台 羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
仮の世の二月の末の四月号 秋雨や四つ角のなき高速路
頭だけ替へる剃刀雛の夜 散らかつて庭うつくしや野分あと
春眠の宿に落花の限りなし 宿の湯にかすかに運動会の樂
代診の先生若し春の風邪 桃の世へ大きな種を吐き出せり
立ち上り見るや周囲の潮干狩 葡萄酒も買って葡萄の旅終る
初夏のこれが一番白い服 玄関の靴の虚ろや虫の声
珈琲に負けぬつもりの柏餅 チチと鳴くは小さき小鳥と思はる
良薬を徽の神より賜りぬ 春を待つ長蛇の列を思ひけり
枕には頭の匂ひ芥子の花 切り分けて尖るはクリスマスケーキ
片蔭を通用門へ廻るなり しんしんと年の始めの寒さかな

最後尾

2020・6・21 【俳壇賞2020 全280句】 選28句

tokel8

暖かやお尻で磨く滑り台
秋雨や四つ角のなき高速路
仮の世の一月の末の四月号
散らかつて庭うつくしや野分あと
頭だけ替へる剃刀雛の夜
宿の湯にかすかに運動会の樂
春眠の宿に落花の限りなし
桃の世へ大きな種を産み落す
代診の先生若し春の風邪
葡萄酒も買って葡萄の旅終る
立ち上り周囲を見やる潮干狩
玄関の靴の虚ろや虫の声
初夏のこれが一番白い服
チチと鳴くは小さき小鳥と思はるる
珈琲に負けぬつもりの柏餅
父母を我がものにして七五三
良薬を徽の神より賜りぬ
枕には頭の匂ひ芥子の花
片蔭を通用門へ廻るなり
手袋で好きな絵本を撫でてをる
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
転がして鉄の重さの雪達磨

12行3段組14ボ 2020年9月21日 20:34 ^1~桐9

2020・6・22 【俳壇賞2020全301句】 選28句

~~弘前市立文~~

12行3段組14ボ
2020年9月22日 21:46 ↑1 桐9

暖かやお尻で磨く滑り台
~~秋雨や十字路のなき高速路~~ 散らかつて庭うつくしや野分あと
仮の世の二月の末の四月号
頭だけ替へる剃刀雑の夜
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
立ち上り周囲を見やる潮干狩
初夏のこれが一番白い服
珈琲に負けぬつもりの柏餅
良薬を徽の神より賜りぬ
枕には頭の匂ひ芥子の花
片蔭を通用門へ廻るなり
羽化の蟬飛んで風化の蟬の穴

~~大まくやまく~~ ~~ほほ~~ ~~たけ~~ ~~12~~

冬眠の黒き田螺が泥の中
転がして鉄の重さの雪達磨
宿の湯にかすかに運動会の樂
桃の世へ大きな種を吐き出せり
葡萄酒も買つて葡萄の旅終る
春を待つものの静けさ百花園

秒針のひたひた廻る大試験
玄関の靴の虚ろや虫の声
チチと鳴くは小さき小鳥と思はる
父母を我がものにして七五三
切り分けて尖るはクリスマスケーキ
しんしんと年の始めの寒さかな
ふる雪や未来は少しづつ過去に
手袋で好きな絵本を撫でてをる

7-6-7-7-1

-7-

2020・9・23 【俳壇賞2020 全312句】 選27句

Take 20

12行3段組14ボ 2020年9月23日 17:55 1~桐9

暖かやお尻で磨く滑り台

散らかつて庭うつくしや野分あと

転がして鉄の重さの雪達磨

仮の世の一月の末の四月号

宿の湯にかすかに運動会の樂

秒針のひたひた廻る大試験

頭だけ替へる剃刀籠の夜

桃の世へ大きな種を吐き出せり

春を待つものの静けさ百花園

春眠の宿に落花の限りなし

葡萄酒も買って葡萄の旅終る

代診の先生若し春の風邪

玄関の靴の虚ろや虫の声

立ち上り周囲を見やる潮干狩

~~かさ~~ことと孤独なペンの夜長かな

衣行引手

初夏のこれが一番白い服

父母を我がものにして七五三

珈琲に負けぬつもりの柏餅

切り分けて尖るはクリスマスケーキ

良薬を徽の神より賜りぬ

しんしんと年の始めの寒さかな

枕には頭の匂ひ芥子の花

ふる雪や未来は少しづつ過去に

片蔭を通用門へ廻るなり

手袋で好きな絵本を撫でてをる

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

冬眠の黒き田螺が泥の中

2020・6・23 【俳壇賞2020全315句】 選27句 false 21

原句改?

12行3段組14ボ 2020年9月23日 22:59 1~桐9

暖かやお尻で磨く滑り台 散らかつて庭うつくしや野分あと

仮の世の二月の末の四月号

宿の湯にかすかに運動会の樂

秒針のひたひた廻る大試験

頭だけ替へる剃刀雛の夜

桃の世へ大きな種を吐き出せり

春を待つものの静けさ百花園

春眠の宿に落花の限りなし

葡萄酒も買って葡萄の旅終る

転がして鉄の重さの雪達磨

代診の先生若し春の風邪

玄関の靴の虚ろや虫の声

転がして鉄の重さの雪達磨

立ち上り周囲を見やる潮干狩

飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな

転がして鉄の重さの雪達磨

初夏のこれが一番白い服

父母を我がものにして七五三

転がして鉄の重さの雪達磨

珈琲に負けぬつもりの柏餅

切り分けて尖るはクリスマスケーキ

転がして鉄の重さの雪達磨

良薬を徽の神より賜りぬ

しんしんと年の始めの寒さかな

転がして鉄の重さの雪達磨

枕には頭の匂ひ芥子の花

ふる雪や未来は少しづつ過去に

転がして鉄の重さの雪達磨

片蔭を通用門へ廻るなり

手袋で好きな絵本を撫でてをる

転がして鉄の重さの雪達磨

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

冬眠の黒き田螺が泥の中

落葉の夕立徒歩にて

2020・6・24 【俳壇賞2020】 全327句 選30句

take22

12行3段組14ボ 2020年9月24日 10:34 ↑1 桐9

よく弾む春の体をどうしよう

暖かやお尻で磨く滑り台

△羽化の蟬飛んで風化の蟬の穴

△散らかつて庭うつくしや野分あと

△頭だけ替へる剃刀雛の夜

△春眠の宿に落花の限りなし

△宿の湯にかすかに運動会の樂

△桃の世へ大きな種を吐き出せり

△葡萄酒も買って葡萄の旅終る

△玄関の靴の虚ろや虫の声

△飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな

△父母を我がものにして七五三

△切り分けて尖るはクリスマスケーキ

△珈琲に負けぬつもりの柏餅

△良薬を徽の神より賜りぬ

△枕には頭の匂ひ芥子の花

△海に降る夕立徒労ではないか

カコのスコウ故
△初富士の逆光となる湯宿かな
△しんしんと年の始めの寒さかな

8-9-6-7-2

△6月27月4
△8月19月23

△春を待つものの静けさ百花園
△転がして鉄の重さの雪達磨
△秒針のひたひた廻る大試験

△手袋で好きな絵本を撫でてをる
△ふる雪や未来は少しづつ過去に
△ふる雪や未来は少しづつ過去に

2020・6・24 【俳壇賞2020全334句】 選29句

Take-23

12行3段組14ボ 2020年9月24日 23:10 ~ 桐9

よく弾む春の体の行方かな

片蔭を通用門へ廻るなり

手袋で好きな絵本を撫でてをる

暖かやお尻で磨く滑り台

羽化の蟬飛んで風化の蟬の穴

△冬眠の黒き田螺が泥の中

仮の世の二月の末の四月号

散らかつて庭うつくしや野分あと

△転がして鉄の重さの雪達磨

頭だけ替へる剃刀籬の夜

宿の湯にかすかに運動会の樂

△秒針のひたひた廻る大試験

春眠の宿に落花の限りなし

桃の世へ大きな種を吐き出せり

△春を待つものの静けさ百花園

代診の先生若し春の風邪

葡萄酒も買つて葡萄の旅終る

△千秋万葉く

立ち上り辺りを見やる潮干狩

玄関の靴の虚ろや虫の声

初夏のこれが一番白い服

飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな

珈琲に負けてはならじ柏餅

父母を我がものにして七五三

良薬を徽の神より賜りぬ

切り分けて尖るはクリスマスケーキ

枕には頭の匂ひ芥子の花

しんしんと年の始めの寒さかな

海に降る夕立徒労ではないか

ふる雪や未來は少しづつ過去に

落葉
降る夕立徒労ではないか

2020・6・25

俳壇賞2020全338句】選30句

fuice24

12行3段組14ボ 2020年9月25日 14:16 ↑1~桐9

よく弾む春の体を如何せん
スヤブ~~シテ~~3~~ナハ~~ カナ
暖かやお尻で磨く滑り台
~~モトス~~ 羽化の蟬飛んで風化の蟬の穴
夢の世の一月の末の四月号
頭だけ替へるカミソリ雛の夜
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
腰伸ばし見るや辺りの潮干狩
初夏のこれが一番白い服
良薬を徽の神より賜りぬ
枕には頭の匂ひ芥子の花
海に降る夕立徒労ではないか

片蔭を通用門へ廻るなり
スヤブ~~シテ~~3~~ナハ~~ カナ
飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな
ちらかつて庭うつくしや野分あと
宿の湯にかすかに運動会の樂
桃の世~~モトス~~4~~ニ~~ 大きな種を吐き出せり
葡萄酒も買つて葡萄の旅終る
チチと鳴く小さき小鳥の来りけり
玄関の靴の虚ろや虫の声
父母を我がものにして七五三

切り分けて尖るはクリスマスケーキ
↓ 初フシ
しんしんと年の始めの寒さかな

2020・6・26 【俳壇賞2020 全348句】 選30句

5月オーダーごち

12行3段組14ボ 2020年9月26日 19:26 ~1~ 桐9

スキップで春の体が飛んでくる
暖かやお尻で磨く滑り台
仮の世の二月の末の四月号
頭だけ替へるカミソリ雛の夜
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
腰伸ばし見るや周りの潮干狩
初夏のこれが一番白い服
珈琲に負けてはならじ柏餅
良薬を徽の神より賜りぬ
枕には頭の匂ひ芥子の花
海に降る夕立徒労ではないか

片蔭を通用門へ廻るなり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
ちらかつて庭うつくしや野分あと
宿の湯にかすかに運動会の樂
桃の夜に大きな種を吐き出せり
葡萄酒も買つて葡萄の旅終る
チチと鳴く小さき小鳥の来りけり
玄関の靴の虚ろや虫の声
飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな
父母を我がものにして七五三
切り分けて尖るはクリスマスケーキ

8-7-7-6-2

春を待つものの静けさ百花園
秒針のひたひた廻る大試験
まんまと海へ落づゆく波ノ音
日暮へ渡る秋の夜の衣衣かな
日暮へ渡る秋の夜の衣衣かな
旅する
衣衣かな
衣衣かな
衣衣かな

2020・6・27 【俳壇賞2020全361句】 選30句

take-26

12行3段組14ボ 2020年9月27日 12:23 ~1~ 桐9

スキップで春の体が飛んでくる
暖かやお尻で磨く滑り台
仮の世の一月の末の四月号
頭だけ替へるカミソリ雛の夜
春眠の宿に落花の限りなし
腰伸ばし見るや周りの潮干狩
初夏のこれが一番白い服
珈琲に負けてはならじ柏餅
良薬を徽の神より賜りぬ
枕には頭の匂ひ芥子の花
海に降る夕立徒労ではないか

片蔭を通用門へ廻るなり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
ちらかつて庭うつくしや野分あと
宿の湯にかすかに運動会の樂
桃の夜に大きな種を吐き出せり
葡萄酒も買つて葡萄の旅終る
チチと鳴く小さき小鳥の来りけり
玄関の靴の虚ろや虫の声
飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな
父母を我がものにして七五三
切り分けて尖るはクリスマスケーキ
しんしんと年の始めの寒さかな

初富士をものの五分で通過して
ふる雪や未来は少しづつ過去に
手袋で好きな絵本を撫でてをる
冬眠の黒き田螺が泥の中
春を待つものの静けさ百花園
秒針のひたひた廻る大試験

2020・9・27 【俳壇賞2020 全366句】 選30句 *fala* 27

12行3段組14拍 2020年9月27日 17:17 ~ 桐9

スキップで春の体が飛んでくる
暖かやお尻で磨く滑り台
仮の世の一月の末の四月号
頭だけ替へるカミソリ雛の夜
春眠の宿に落花の限りなし
腰伸ばし見るや周りの潮干狩
初夏のこれが一番白い服
珈琲に負けてはならじ柏餅
良薬を徽の神より賜りぬ
枕には頭の匂ひ芥子の花
海に降る夕立徒労ではないか

片蔭を通用門へ廻るなり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
秋の雲いわし雲とはまた別の
ちらかつて庭うつくしや野分あと
宿の湯にかすかに運動会の樂
桃の夜に大きな種を吐き出せり
葡萄酒も買つて葡萄の旅終る
春を待つものの静けさ百花園
秒針のひたひた廻る大試験
飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな
玄関の靴の虚ろや虫の声
父母を我がものにして七五三
切り分けて尖るはクリスマスケーキ
しんしんと年の始めの寒さかな

初富士をものの五分で通過して

ふる雪や未来は少しづつ過去に

手袋で好きな絵本を撫でてをる

冬眠の黒き田螺が泥の中

春を待つものの静けさ百花園

秒針のひたひた廻る大試験

20
20
• 6
• 28
【俳壇賞
20
20
全371句】 選30句

take 28

12行3段組14点
2020年9月28日 17:58 ^1 ヴ桐9

スキップで春の体が飛んでくる
暖かやお尻で磨く滑り台
仮の世の二月の末の四月号
頭だけ替へるカミソリ雛の夜
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
腰伸ばし見るや周りの潮干狩
初夏のこれが一番白い服
珈琲に負けてはならじ柏餅
良薬を徽の神より賜りぬ
枕には頭の匂ひ芥子の花
海に降る夕立徒労ではないか

片蔭を通用門へ廻るなり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
秋の雲いわし雲とはまた別の
ちらかつて庭うつくしや野分あと
宿の湯にかすかに運動会の樂
桃の夜に大きな種を吐き出せり
葡萄酒も買つて葡萄の旅終る
~~玄関の靴の脱役~~^{靴の脱役} ~~に改え~~^{に改え}
飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな
父母を我がものにして七五三
切り分けて尖るケーキやクリスマス
しんしんと年の始めの寒さかな
めごとく

初富士をものの五分で通過して
ふる雪や未来は少しづつ過去に
手袋で好きな絵本を撫でてをる
冬眠の黒き田螺が泥の中
春を待つものの静けさ百花園
秒針のひたひた廻る大試験
カレタヨリササギ 大きく
年かくせ
ま、ムヤリトリトニアラホセ
生一かくたる内トトニ
R.
秋深く、
の暮

2020・6・28 【俳壇賞2020全371句】 選30句

Jake 29
50号

12行3段組14ボ 2020年9月28日 20:41 ↑1 桐9

しんしんと年の始めの寒さかな

春を待つものの静けさ百花園

父母を我がものにして七五三

ちらかつて庭うつくしや野分あと

春眠の宿に落花の限りなし

葡萄酒も買って葡萄の旅終る

ふる雪や未来は少しづつ過去に

初夏のこれが一番白い服

片蔭を通用門へ廻るなり

スキップで春の体が飛んでくる

初富士をものの五分で通過して

枕には頭の匂ひ芥子の花

羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴

切り分けて尖るケーキやクリスマス

良薬を徽の神より賜りぬ

仮の世の二月の末の四月号

代診の先生若し春の風邪

珈琲に負けてはならじ柏餅

海に降る夕立徒労ではないか

暖かやお尻で磨く滑り台

片蔭を通用門へ廻るなり

玄関の靴の虚ろや虫の声

冬眠の黒き田螺が泥の中

枕には頭の匂ひ芥子の花

腰伸ばし見るや周りの潮干狩

桃の夜に大きな種を吐き出せり

良薬を徽の神より賜りぬ

手袋で好きな絵本を撫でてをる

頭だけ替へるカミソリ雛の夜

珈琲に負けてはならじ柏餅

秋の雲いわし雲とはまた別の

飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな

秒針のひたひた廻る大試験

宿の湯にかすかに運動会の楽

片蔭を通用門へ廻るなり

アトムル決シナラ
ワカフイク入
ライトキスト 五
カラス

2020・6・30 【俳壇賞2020全37句】 選30句

Take 30

12行3段組14ボ 2020年9月30日 10:12↑1~桐9

スキップで春の体が飛んでくる
暖かやお尻で磨く滑り台
仮の世の二月の末の四月号
頭だけ替へるカミソリ雑の夜
春眠の宿に落花の限りなし
代診の先生若し春の風邪
腰伸ばし見るや周りの潮干狩
初夏のこれが一番白い服
珈琲に負けてはならじ柏餅
良薬を徽の神より賜りぬ
枕には頭の匂ひ芥子の花
海に降る夕立徒労ではないか

片蔭を通用門へ廻るなり
羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴
秋の雲いわし雲とはまた別の
ちらかって庭うつくしや野分あと
宿の湯にかすかに運動会の樂
桃の夜に大きな種を吐き出せり
春を待つものの静けさ百花園
冬眠の黒き田螺が泥の中
手袋で好きな絵本を撫でてをる
手袋で好きな絵本を撫でてをる
秒針のひたひた廻る大試験
飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな
切り分けて尖るケーキやクリスマス
父母を我がものにして七五三
初富士をものの五分で通過して